

11月に入ると、木々が美しく色づく季節になります。昨年は、近江の湖東三山（西明寺、金剛輪寺、百済寺）に行ってきました。今年は、京都の東福寺・通天閣へ出かける予定です。たまには家族で、お弁当を持って出かけるのもいいものですよ。

■第5回センターまつりは大盛況・大成功のうちに終わりました！



（ロビーはたくさんの人でいっぱい！）

創作体験『モザイクアート』も、とても可愛らしいものを作ることができ、盲ろう者のみなさまや親子連れの方々に楽しんでもらえたようです！

なお、「聴覚障がい者支援機器」のひとつに、「カウンター型磁気誘導ループ装置タブレット利用による文字表示付き」の展示があり、創作体験で体験使用をしてもらいました。講師の声がほぼ正確に表示され、多くの人の関心を集めました。

団体交流では、ミニ筆談ボードづくりやパソコン要約筆記を入れ替わり立ち代り、体験していただきました。

来年も楽しい企画作りにがんばります！

去る10月10日(月・祝)に、三重県教育文化会館で開催した、第5回センターまつりは大盛況のうちに終了しました！
なお、今年の参加者は158人でした！

盲ろう者についての啓発の一環として『奇跡のひととマリーとマルグリット』を上映しました。視覚障害者の方にも楽しんでいただけるよう「日本語副音声」を、盲ろう者には少しでも画面が見やすい位置をと、事前に本人と確認しながら席をセッティングするなど、すべての人に楽しんでもらえたのではないのでしょうか。

ラストシーンではあちこちからすすり泣きが・・・。「本当に良い映画だった」との声をたくさんいただきました。



（この画面に講師の音声
が文字表記されるの
です。ほぼ正確に表示
されていました！）



■近鉄様とアスト津様のご協力をいただき、「移動介助実習」を行いました！



2015年度から始まった三重県盲ろう者通訳・介助員養成講座も、残すところあと2回のみになりました。

10月15日は移動介助実習で、近鉄電車とアスト津の協力を得て津新町駅で切符購入・改札通過、そして停車中の車両をお借りして乗降訓練を行いました。

またアストプラザではエスカレーターの昇降訓練を行いました。みなさま、お疲れさまでした。



（自動券売機の使い方を学びます）（乗降訓練のようす）

三重県聴覚障害者支援センター

〒514-0003 三重県津市桜橋2丁目131

三重県社会福祉会館5階

FAX (059) 223-3301 / TEL (059) 223-3302

http://www.deaf-mie-center.com/

e-mail: deaf.mie-center@vivid.ocn.ne.jp

□利用時間 午前8時30分～午後5時

□休館日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始

三重 聴覚



字幕映像ライブラリー NEWS

10月21日に最大震度6弱の激しい揺れで被害をもたらした鳥取地震は、改めて災害に対する備えが必要だということのを再認識するできごとでした。今月は防災に関する映像作品を紹介します！

なお、「借りたいけど、なかなかセンターに行くヒマがない～」とお嘆きのアナタ、大丈夫です。郵送で貸出や返却ができるんです。詳しくは当センターホームページで！



■字幕映像ライブラリー 今回のイチオシ作品 はこれです！

『ろうを生きる難聴を生きる 災害に備える～映画「生命のことづけ」から学ぶ～（他1本）』

聴覚障害者向け映像ライブラリー
（共同事業）

B-3

ろうを生きる難聴を生きる

- ・ 災害に備える
～映画「生命のことづけ」から学ぶ～
（平成25年9月15日放送）
- ・ 災害に備える
～情報を得るために～
（平成25年9月22日放送）

2話収録

分類番号: DA2014-041～042
時 間: 各15分
制作・提供: NHK

（社福）聴覚障害者情報文化センター

●『ろうを生きる難聴を生きる～災害に備える～映画「生命のことづけ」から学ぶ～』

早瀬憲太郎監督の映画「生命のことづけー死亡率2倍 障害のある人たちの 3.11ー」では、東日本大震災での障害者の死亡率が住民全体の死亡率と比べると2倍だった事実が語られている。

早瀬監督と日本障害フォーラム・藤井克徳さんとの対談を通して、災害時に生きのびるためにはどうしたらよいかを考える。

なお、DVDにはもう1本、『災害に備える～情報を得るために～』も収録されています。

また、早瀬監督の映画「生命のことづけー死亡率2倍 障害のある人たちの 3.11ー」も当センターのライブラリーにありますので、こちらもぜひご視聴くださいませ！

■当センター自主制作番組 『鳥羽水族館 もっと！水の惑星（ほし）紀行』

『もっと！水の惑星（ほし）紀行』は、鳥羽水族館と（株）ZTV伊勢放送局が共同制作した、ラッコやアザラシ等、豊富な生きものの映像を使い、野生生物の暮らしを紹介しながら、生命と地球環境について一緒に考えていく、毎月放映されているシリーズ番組です。

その人気番組に、当センターが字幕付与を行いました。お子さんはもちろん、大人の方でも思わぬ発見や驚きがあり、見ていて楽しめる内容です。

さて、今回紹介するのは・・・

『月と生き物たち』

〈番組の内容〉

潮の満ち引きにより、生きものたちの活動の様子が変わります。月の引力によっておこる潮の満ち引き。潮干狩り（しおひがり）ができるのもそのおかげです。

日本でもっとも、干満（かんまん）の差が多い有明海（ありあけかい）では、あのムツゴロウがおもしろい動きを見せてくれます。生きものは多くの子どもたちを残すためにも、この潮の満ち引きを利用します。見事です！

鳥羽水族館・（株）ZTV伊勢放送局 制作番組



【2015年制作】
月と生きものたち

鳥羽水族館



三重県聴覚障害者支援センター